

第156回
国会開会

日本共産党の政策でくらしを進む

衆議院議員 矢島つねお・衆議院議員 塩川てつや国会報告

国連憲章と憲法を守り 経済再建の政策をかけ奮闘

必要なことは人道的支援 イラク派兵させないたたかいを

日本共産党は国会内外でイラク戦争の不法性を追及し、イラク派兵法に反対してたたかいました。いまだに大量破壊兵器は見つからず、アメリカなどの「巨大なうそ」に加担した小泉首相も同罪です。

森原公敏国際局次長が参加した日本共産党イラク調査団は、イラク国民が日本に望んでいるのは電気・水道の普及、医療など人道的支援であることを明らかにしました。

イラク復興は国連中心に切り替え、米英軍の速やかな撤退しかありません。イラク派兵法が強行されましたが、

自衛隊派兵をさせないために、引き続きみなさんと頑張ります。

経済政策の抜本的転換をかけ多くの成果

小泉内閣の二年間で労働者世帯の収入が、年収で平均三十二万円も落ち込んでいます。そのうえ、来年度以降に年金大改悪、消費増税など庶民増税の一矢攻撃をくねだてています。日本共産党は国民の暮らし応援、経済政策の抜本的転換を求め、「サービス残業」一掃の追及、中小企業の資金繰りを助けるための借換保証制度の実現、ヤミ金融法の成立など多くの成果をあげてきました。

経済・金融問題で国政リード

塩川てつや衆院議員

塩川議員は、日本共産党の国会議員団経済産業部会長として、小泉内閣の悪政を追及するとともに、日本経済再建の道を示す建設的提案をしてきました。

中小業者、労働者の声を聞き、実態にもじづく質問で、政府を追いつめ、國の方針を変えさせるなど国政をリードしてきました。

中小企業と国民のくらし応援へ

塩川議員は、「政府の不良債権処理策が倒産と失業を増大させ景気の悪化を招き、さらなる不良債権の拡



実体経済の立て直しを求める塩川議員
経済産業委員会

大という悪循環をつくっている」と小泉首相を追及。「日本経済を支えている中小企業と国民の暮らしを応援し、実体経済の立て直しをはかれと強く求めました。

再三の質問・要求で 中小企業への「借換保証制度」実現

當業と資金繰りに苦しむ中小業者を支援するため、国の「借換保証制度」を創設するよう塩川議員は再三にわたり、国会で要求し、二月からスタートさせました。

くらし・経済で大活躍の
常経産業部会長



1961年、埼玉県出身。都立大卒／日高市役所勤務をへて党県・地区議員／2000年参院選で初当選／現在、党国会議員団経済産業部会長、妻、三女

塩川てつや



むだなダメ
ストップの声を国会に
小笠原しんめい

1948年、青森県出身。秋田大学附属中学校卒業。昭和電機製鋼労働組合青年部部長／現在、党群馬県常任委員長／妻、一男

田谷たけお



明るく誠実
福祉充実に情熱燃やす
行動力抜群の女性の代表

元山かよ子



1959年、福岡県出身。山口大学卒／民青同盟福島県副委員長／新潟県本部事務局長／下関市議2期／現在、党青連委員長・西日本地区委員長／妻、二男、一女

世界平和のルールづくりへ
野党外交を活発に

森原公敏



1949年、広島県出身。山口大卒／党地区職員、「しんぶん赤旗」ワシントン・ロンドン特派員／現在、党幹部会委員・国際局次長／妻、一男一女

次期総選挙に向け、日本共産党の衆議院比例代表北関東ブロック予定候補5名を発表

現職以外は
50音順

明るく誠実

福祉充実に情熱燃やす
行動力抜群の女性の代表

元山かよ子

世界平和のルールづくりへ
野党外交を活発に

森原公敏

1949年、広島県出身。山口大卒／党地区職員、「しんぶん赤旗」ワシントン・ロンドン特派員／現在、党幹部会委員・国際局次長／妻、一男一女

みんなのねがい実現へ 国政 政策うさがす



1986年7月初当選以来、みなさまからお寄せ頂いたご支援に心から厚くお礼申しあげます。今回、新しい候補者と交代することになりましたが、私もその勝利にむけ体力の統一を限り頑張ります。

衆議院議員 矢島つねお

来年の参院比例代表選挙
大門参院議員が
茨城・群馬・埼玉・栃木を活動地域に

現 大門みきし
1956年、京都府出身。
1976年、東京土建労組書記長を経て、2001年参院議員に初選出。参議院予算委員会議員。

地域経済・金融問題 各地で調査・懇談



商工会議所や信用保証協会役員らと懇談し意見交換

塩川・大門両議員、あべ前参院議員は、旧あさひ銀行元頭取で埼玉県商工会議所連合会の吉野重彦

会長と懇談し、県内の中小企業振興や金融機関の役割について率直な意見交換をおこないました。

また、塩川議員は埼玉県信用保証協会を訪れ、栗原茂男専務理事ら役員と懇談し、深刻な不況のもとでの中小企業振興のため意見交換をおこないました。

「地元に仕事」制度改善で埼玉県川越市長と懇談

日本共産党リスト反対・雇用を守る闘争本部（山下芳生事務局長）は、埼玉県川越市役所を訪れ、舟橋功一市長と懇談。同市が導入している「小規模修理・修繕



説明を受ける（左から）塩川・矢島・山下氏ら＝7月17日、埼玉・川越市役所

契約希望者登録制度」や「住宅改修補助金」制度について活用の実態や経験をきました。

同市の説明のなかで埼玉土建一般労働組合などによる運動や日本共産党議員団の議会質問が制度創設や改善の契機になつたとのべました。

空洞化が進む宇都宮市を中心部の商店街で懇談



活動スナップ



新婦人内後援会の会議でイラク戦争や有事法制について講演する森原氏＝6月8日、さいたま市



産廃不法投棄がされたという現場で説明を受ける矢島議員＝7月31日、栃木・足利市



土石流の現場で被災状況の説明を受ける塩川議員＝8月3日、群馬・水上町



「借換保証制度」の活用促進を申し入れる大門・田谷氏ら＝8月22日、茨城・水戸市

思川開発事業のダム予定地を調査し懇談



塩川衆院議員、大門参院議員、森原衆院比例候補らは、栃木県鹿沼市の南摩ダムと東大吉川ダム建設予定地を視察。ダム反対運動をしている地元の西大吉川漁協の石原政男組合長、大吉川清流を守る会の大貫林治会長、ダム反対鹿沼市協議会の田原桂子会長らと懇談しました。

旧日本軍の毒ガス遺棄問題 被害者への補償を

茨城県神栖町・栃木県益子町

決算委で要求

塩川議員は、茨城県神栖町での井戸水ヒ素検出問題と栃木県益子町小学校庭への毒ガス遺棄問題で現地を訪れ、自治体や関係住民から状況の説明と国への要望を聞き、衆院決算行政監視委員会で、旧日本軍の遺棄毒ガス問題について質問し、原因の徹底究明と被害者への公的補償を求めました。

政府は、原因究明の調査とともに、神栖町の被害者への医療費補

償をおこない、旧日本軍の遺棄毒ガスの全国調査をおこなうことになりました。



ヒ素が検出された井戸水を飲んでいた住民から要望を聞く塩川議員＝5月2日、茨城・神栖町